

# 2025

SUPER FORMULA LIGHTS  
RACE REPORT

Rd.1-2-3	SUZUKA CIRCUIT	>>>>>>	MAR 08-09
Rd.4-5	AUTOPOLIS	>>>>>>	MAY 17-18
Rd.7-8-9	OKAYAMA	>>>>>>	JUN 21-22
Rd.10-11-12/6	Sportsland SUGO	>>>>>>	AUG 30-31
Rd.13-14-15	FUJI SPEEDWAY	>>>>>>	SEP 06-07
Rd.16-17-18	MOBILITY RESORT MOTEGI	>>>>>>	NOV 29-30

MOBILITY RESORT

G

U

T

O

M

TOM'S



Rd.16-17-18

## MOBILITY RESORT MOTEGI

11.29 [sat] - 30 [sun]

circuit モビリティリゾートもてぎ(栃木県茂木町)

weather [sat] 晴れ [sun] 晴れ spectators 発表なし



2025年全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権 Round16・17・18 が、11月29日(土)・11月30日(日)にモビリティリゾートもてぎで行われた。小林利徳と佐野雄城は予選からライバルに内薄する走りをみせたが、トップに浮上することはできず、小林が3戦全てで2位、佐野も3戦全てで3位表彰台に立った。エステバン・マッソンは初めてのもてぎで悪戦苦闘しながらも Round17 で6位入賞を果たした。古谷悠河はスタートでポジションを上げ、Round16 と 18 で6位を獲得した。

**モビリティ中京 TOM'S TGR-DC SFL**

**35** **YUKI SANO**  
Driver 佐野 雄城

Rd.16			Rd.17			Rd.18					
予選	2位	決勝	3位	予選	2位	決勝	3位	予選	3位	決勝	3位
予選タイム	P2/1'43.147	P2/1'42.904	グリッドは第16 戦の決勝レース結果								
決勝ベストタイム	P3/1'43.714	P3/1'44.196	P3/1'44.743								

**PONOS Racing TOM'S TGR-DC SFL**

**36** **ESTEBAN MASSON**  
Driver エステバン・マッソン

Rd.16			Rd.17			Rd.18					
予選	8位	決勝	8位	予選	9位	決勝	6位	予選	8位	決勝	8位
予選タイム	P8/1'43.956	P9/1'43.906	グリッドは第16 戦の決勝レース結果								
決勝ベストタイム	P8/1'45.033	P6/1'44.924	P8/1'45.997								

**Deloitte. HTP TOM'S SFL**

**37** **YUGA FURUTANI**  
Driver 古谷 悠河

Rd.16			Rd.17			Rd.18					
予選	7位	決勝	6位	予選	8位	決勝	DNF	予選	6位	決勝	6位
予選タイム	P7/1'43.883	P8/1'43.835	グリッドは第16 戦の決勝レース結果								
決勝ベストタイム	P6/1'44.363	DNF	P6/1'45.421								

**モビリティ中京 TOM'S TGR-DC SFL**

**38** **RIKUTO KOBAYASHI**  
Driver 小林 利徳斗

Rd.16			Rd.17			Rd.18					
予選	3位	決勝	2位	予選	3位	決勝	2位	予選	2位	決勝	2位
予選タイム	P3/1'43.292	P3/1'42.915	グリッドは第16 戦の決勝レース結果								
決勝ベストタイム	P2/1'43.748	P2/1'44.139	P2/1'44.424 Fastest Lap								



天候：晴れ／気温：9°C／路面温度：11°C

QUALIFYING



予選1回目では  
佐野が僅差で2番手を獲得。  
小林も3番グリッドにつけ、  
逆転を狙う。

前回大会から約2ヶ月のインターバルを経て、今季の最終大会がスタート。ドライバーズチャンピオンはライバルに奪われたが、チームチャンピオンの獲得と残りの3レースでの優勝を目指し、4人のドライバーが挑んだ。

気温10°Cを下回るなかで始まった予選1回目では、佐野が好タイムを記録するがライバルが僅か0.012秒差で上回り、2番手となった。小林も速さを見せ、3番手についた。続く予選2回目で逆転を目指した両選手だが、寒いなかでウォームアップも難しい状況。ベストを尽くしたが、ライバルに一歩及ばず、佐野が2位、小林が3位となった。

今大会でSFLでの4シーズンの集大成を見せたい古谷だったが、予選ではペースが思うように上がらず1回目が7位、2回目が8位という結果に。マッソンも初挑戦のもてぎで苦戦しながら、1回目に8位、2回目に9位につけ、決勝レースで上位進出を狙う。

35



ウォームアップが難しい  
状況でした。

ドライバー 佐野 雄城

1回目はタイヤのウォームアップが難しくて、それでギリギリ負けたという感じでした。2回目はアタックの位置取りを変更して、そこはうまくいきましたが、なぜか差が広がる結果になりました。決勝はスタートしかチャンスがないと思うので、逆転できるよう頑張ります。

36



今週は全体的にペースが  
足りない。

ドライバー エステバン・マッソン

僕にとってこのコースは初経験だから木曜日と金曜日でたくさん周回して、コースのことを理解しました。ハードブレーキングや低速コーナーがあるタイプのコースは好きだけど、タイムを見るとそこで苦労している。決勝に向けて何とか改善したいです。

37



感触は悪くなかっただけに、  
この結果に驚いています。

ドライバー 古谷 悠河

金曜日の練習走行では調子が上がっているなと感じていました。予選アタックもフィーリングは変わらず良かったので、順位が良くないことが不可解です。走っているフィーリングと結果がリンクしていない感じで、原因が分からない状況です。

38



練習走行から調子の良さは  
感じています。

ドライバー 小林 利徳斗

今回は気温がだいぶ低いので、そのなかでタイヤを温めていなければなと思いました。ただ、1回目はアタックに向けた位置取りで渋滞が起きていて、トップの選手と比べて周回数が1周少なくなったことも影響しました。



ピット位置やタイヤの温まりで、差が出たのかもしれません。

金曜日まではライバルと戦える手応えはありましたが、予選2回目で差がつく結果となりました。ピットの位置や予選時間の関係でタイヤを温める時間に限りがあったのは事実ですが、全体的に見るとライバルに対して少し足りないところもありました。



Rd.16 天候：晴れ／気温：16°C／路面温度：25°C    Rd.17 天候：晴れ／気温：7°C／路面温度：11°C  
 Rd.18 天候：晴れ／気温：17°C／路面温度：25°C



RACE

## 小林と佐野が3戦連続で表彰台獲得。 チームランキング2位で シーズンを終える。

29日(土)14時10分から始まった第16戦決勝(14周)では、3番グリッドの小林が好スタートを決めて2番手に浮上。トップを走るライバルを追いかけたが、その差を埋めることはできず2位のままでチェックを受けた。一方、2番グリッドからスタートした佐野は3位表彰台を獲得した。古谷は好スタートを決めて6位入賞を果たし、マッソンは8位でチェックを受けた。

30日(日)9時05分からの第17戦決勝(14周)は、小林が前日の反省点を活かしてトップに迫る走りをみせるも、2位でフィニッシュ。佐野も3位で続いた。古谷は1周目の5コーナーで他車に接触されマシンにダメージを負い、悔しいリタイア。1周目の混乱で順位を上げたマッソンが6位入賞を果たした。

13時30分からの第18戦決勝(19周)も、小林が2位、佐野が3位からのスタートでトップを追いかけたが逆転は叶わず。古谷はポイント圏内を死守して、今週末2度目のポイント獲得となった。マッソンは思うようにペースが上がらず8位となった。

35



毎回少しずつ足りない  
シーズンでした。

ドライバー 佐野 雄城

スタートがチャンスと思っていたのですが、第16戦と第18戦では失敗して順位を取り戻すことに専念したレースになりました。今年は年間4勝できましたが、終わってみるとライバルに対して少しずつ足りないところが毎大会ありました。

36



今週は一貫して問題を  
抱えていた。

ドライバー エステバン・マッソン

今週末はペースが不足していて、正直何もできなかった3レースでした。僕にとっては初めて日本のシリーズを戦って、残念ながら望んだ結果を獲ることはできなかったです。だけど、新しい環境やサーキットを経験したことは、自分の今後にプラスに働くと思います。

37



スタートでうまく順位を  
上げられました。

ドライバー 古谷 悠河

1レース目はスタートをうまく決めて順位を上げることができました。ただ、ペース的に課題があるので、セッティングを変更して2レース目に臨みましたが、1周目のアクシデントでリタイアとなり、その確認ができませんでした。3レース目もポイントを獲得できてよかったです。

38



全体的に悔しい  
1年となりました。

ドライバー 小林 利徳斗

スタートで2番手に上がることはできましたが、前車の真後ろに入るとダウンフォースが抜ける症状もあり、仕掛けるところまで行けませんでした。今年はスピードでライバルを上回れない大会が多く、昨年の経験を活かしきれないシーズンでした。

足りないところがあることを感じた大会でした。

ライバルと互角ではあったが、いろんなところで少しずつ足りないところがあるなど感じた大会でした。予選の速さもそうですし、スタートの精度も来年に向けた課題として改善していくといけません。来年こそチャンピオンを奪還できるように、より一層取り組んでいきます。

チーム監督 山田 淳



**TOM'S**

**Deloitte. PONOS** トヨタモビリティ中京 **KUO GROUP**



**坪井工業**



損保ジャパン 東京アーバンコンサルティング

**広島トヨペット**  
HIROSHIMA TOYOPET TECHNICA

**HTP Racing**  
hiroshima

**Vバンテリン**

**マツモトキヨシ**

**LAC**

**トヨタカローラ静岡**

**EDIFICE**  
CASIO

**S&D**  
TAMA GROUP

**TOYOTA GAZOO Racing**

**TGR-DC**  
TGR Driver Challenge Program

**TGR-D**

**MOTUL**

**ENKEI**

**ThreeBond**

**PFC**  
SKAACE

**KUMHO**